

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	福井県における劇症型溶血性レンサ球菌感染症の発生動向
発表学会名	第51回北陸公衆衛生学会
発表者名	横山 孝治（保健衛生部）
開催場所	福井市地域交流プラザ（アオッサ6階）
発表日時	令和6年11月12日 10:15～16:05
発表内容	<p>劇症型溶血性レンサ球菌感染症（streptococcal toxic shock syndrome：STSS）は、病状の進行が急激かつ劇的で、発病から数十時間以内にショック症状、多臓器不全、急性呼吸窮迫症候群、壊死性筋膜炎などを伴う致死率の高い感染症である。近年、日本において、A群溶血性レンサ球菌（Group A <i>Streptococcus</i>: GAS）による STSS 症例および咽頭炎症例が増加しており、その検出状況の把握は極めて重要である。</p> <p>今回、2015年第1週から2024年第35週までに県内医療機関から届出された劇症型溶血性レンサ球菌感染症（STSS）症例について、届出情報をもとに集計を行った。あわせて、2024年に届出のあった GAS 分離株3株について、解析結果を報告した。</p>